

ATM 逆多重化 (IMA) を使用する 7200 シリーズ ルータの ATM サービス インターワーキング (FRF.8) への フレームリレー

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

[広帯域フォーラム](#)は (以前フレームリレーフォーラム (FRF.5)) FRF.8 実装合意書のフレームリレー ATM 間サービス インターワーキング 機能を定義します。一般的に FRF.8 は、[フレームリレー エンドポイント、ATM エンドポイント、および InterWorking Function \(IWF\) デバイス](#)から構成されます。PA-A3 ポート アダプタを搭載した Cisco 7200 シリーズ ルータは、Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.1(5)T から、[インターワーキング機能を提供できます](#)。また、Cisco 2600 および 3600 シリーズ ルータ、MC3810 もインターワーキング機能を提供できます。フレームリレー/ATM 間のサービス インターワーキング (FRF.8) 機能は、フレームリレーと ATM ネットワーク (特に、ATM バックボーンおよびフレームリレー エンド ユーザによるネットワーク) をリンクする必要があるインターネット サービス プロバイダーにメリットを提供します。

ATM の逆多重化 (IMA) は [広帯域フォーラム仕様](#) (af-phy-0086.000) です。高帯域幅および論理リンクを形成することをグループ化される物理リンク間で ATM セルの逆多重化および逆多重化を循環して含みます。論理リンクのレートは、IMA グループの物理リンクの合計レートとほぼ同じです。セルのストリームは、複数の T1/E1 リンクにラウンドロビン方式で分散され、元のセルストリームを形成するために宛先で再構成されます。シーケンシングは、IMA Control Protocol (ICP) セルを使用して提供されます。

この文書は PA-8T1-IMA の 7200 シリーズ ルータの FRF.8 のための設定例を表記したものです。

前提条件

要件

この設定を開始する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

- フレームリレーおよび ATM/IMA 両方のためのルータコンフィギュレーションを理解してください。
- エンキャプシユレーションタイプ、フレーム、セルフォーマットおよびレイヤ1トラブルシューティングを詳し。
- ケーブル接続を理解してください。

この資料でカバーされない関連のトピックは [関連情報](#) で見つけることができます